

第150回火山噴火予知連絡会
～全国の火山活動の評価等について～

本日（5日）、第150回火山噴火予知連絡会を開催し、全国の火山活動の評価等について検討を行いました。

本日（5日）、第150回火山噴火予知連絡会（会長：清水洋 九州大学 名誉教授）を開催し、全国の火山活動等についての検討を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

本日の会合においては、口永良部島部会につきまして、火山活動の状況を踏まえ、今後は定期的を開催する火山噴火予知連絡会において、他の火山と併せて活動評価を実施することとし、廃止となりました。

また、監視・観測の充実の必要な火山として、鹿児島県の中之島を追加すべき旨提言がありました。

火山噴火予知連絡会のあり方の検討についてもおおよその合意をいただきました。近く最終報告としてとりまとめられる見込みです。

火山活動の検討に続き、火山活動の評価に資するテーマを設定した意見交換（今回のテーマ：鶴見岳・伽藍岳の噴火警戒レベル判定基準の改訂について）を行いました。

記

第150回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価（別紙）

第150回火山噴火予知連絡会 抜粋資料等（参考資料）

以上

<問合せ先> 地震火山部 火山監視課 担当 中村
電話 03-3434-9119